

No.32

2012年
(平成24年)

同窓会だより

— 発行 —

旭川荘厚生専門学院
同 窓 会

— 発 行 者 —

同窓会会長 高橋 里子

平成24年 9月

岡山市北区祇園866

TEL (086) 275-0145

FAX (086) 275-3283

同窓会会員の皆様お元気でご活躍のことと存じます。

母校が開校し四十周年を迎えて、私たち一期生は還暦を迎えました。母校が多岐の卒業生を送り出してくださり、看護・介護・保育・福祉と様々な分野で活躍してくれています。創立四十周年という記念する年でもあります。

同窓生の皆様方には益々お元気でご活躍のことと拝察致します。また平素より本学院の教育推進に力強いご支援をいただいております。心より感謝申し上げます。

私は、昨年四月、創立四十周年という節目の年に、藤田哲輔前学院長の後任として就任しました。どうかよろしくお願い致します。

昨年の創立四十周年に際しましては、記念誌を発刊するとともに、校舎の全面的リニューアル、四十周年を冠した記念講演会、岡山ドームでの体育大会、学院祭、卒業演奏会や研究発表会等を盛大に行いました。次に今年の状況ですが、新入生は二三百名で在籍者数は五三七名となりました。高校卒業生数の減少に加え、大学・短大、同種の専門学校等との競合の中で入学生の減少傾向は依然として続いておりますが、学院生は目標に向かって元気に頑張っています。

このような中、本学院では、すべての科において、新しい時代にふさわしい専門教育のあり方を検討しています。児童福祉科では、幼児・保育・福祉に対応するべく昨年十一月に近畿大学豊岡短期大学と教育連携し、今年度より保育士資格に加え、幼稚園教諭二種免許状の取得も可能となりました。第一看護科は四十名の定員増を申請中で、平成



新たな出発の時に

学院長 岡田 浩 明

あり、第二十四回同窓会総会の開催を「岡山アークホテル」に於いて予定しております。学院も校舎のリニューアルをするなど様々に変化しております。旭川荘や母校の見学を含め、ぜひ多くの方に参加して頂き同窓生や学院の先生方と楽しい時間を過ごしたいと思っております。同期生と共にお願いいたします。お越し下さいませ。お待ちしております。



創立四十周年にあたり

同窓会長 高橋 里子

また福祉研究科を昨年度末をもって廃止するとともに、二十五年度より介護福祉科の定員を五十名とし、二十七年からの介護福祉士国家試験制度変更に対応すべく、今年十月から実務者研修(通信)を開始し、現在受講生を募集中です。

入試制度につきましても、AO入試や社会人入試を導入するとともに、入学時の支援として、卒業生・在校生親族等を新たに設け、二親等までの受験者については、入学検定料免除、入学金半額免除としました。なお、ホームページを全面的にリニューアルしてこのような情報を提供しており、今後、同窓会とも連携し充実を図りたいと思っております。

このように、次なる十年に向けて動きだした本学院であります。現在あるのは母体となつて旭川荘を始め多くの方々の支えのおかげであります。教職員一丸となつて学院発展に尽力する覚悟であります。同窓生の皆様方の更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

平成二十四年春の叙勲にて、藤田哲輔前学院長が、「瑞宝小綬章」を受章されました。



藤田哲輔前学院長が
「瑞宝小綬章」を
受章されました

第24回 同窓会総会のご案内

開催日時 平成24年11月17日(土)
11:00~11:30 総会
12:00~14:00 懇親会(食事込み)

場 所 アークホテル岡山
〒700-0907 岡山市北区下石井2-6-1
TEL: (086)233-2200

会 費 2,000円

ぜひご参加ください!

出欠につきましては、**10月26日(金)**までに、同封のハガキ・FAX・E-mailにてご連絡ください。

FAX (086) 275-3283

E-mail: g-dousoukai@asahigawasou.or.jp

「同窓会だより」休止のお知らせ

今回の発行で第32号を迎えた「同窓会だより」ですが、宛先不明で返却される件数が増加してきたため、しばらく休止とさせていただきます。

今後の「同窓会活動」については、旭川荘厚生専門学院のホームページ「卒業生の方へ」にて情報提供をさせていただきます。(現在準備中) またメルマガ配信も開始する予定にしておりますので、ぜひホームページよりご登録ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

旭川キャンパスより

児童福祉科



卒業生の皆様、お元気で活躍のことと思います。

児童福祉科では今年から保育コースと幼児保育コースのどちらかが選択できるようになり、幼

保コースを卒業すると幼稚園二種免許が取得できるようになりました。今年度は地元の二幼稚園に幼保コース十六名が初めて実習に行かせていただきました。初めての実習ということだ教員はともにも心配をしていました。その心配をよそに学生達は毎日遅くまで残って指導案の作成や、遊びに使うおもちゃ作りなどをして実習に臨み、とても頑張ってくれました。その結果「大変意欲的でよく気が付く素晴らしい学生達です。私たち教員も大変勉強になりました。どのよう

に指導すれば、このように素晴らしい学生に育つのですか。旭川厚生専門学院のご指導の素晴らしさに関心しています。」と高い評価をいただきました。学生達も楽しい思い出をたくさん作り、大きく成長して帰ってきました。これも学院の特色としてのアルバイトやボランティアが多くできる環境の中での生活の成果と嬉しく思っています。また、児童福祉科として毎年子育て事業を多く取り組んでいます。そうした経験の中からも育つてきていると思います。最近では口コミで「旭川厚生専門学院の子育て支援事業はとても楽しい」と評判になっていて、保育園の行事への参加の依頼が増え、学生達の活躍の場が広がってきています。

昨年卒業演奏会は、創立四十周年の記念ということで、西大寺保育園園児に特別出演していただき、大成功で終えることができました。今年度はさらに内容を工夫し、学生の力が存分に発揮できるよう、教員が縁の下力持ちとして応援していきたいと思っています。



看護科



看護科ではこのような行事が行われています！最近の様子をお伝えします。

障害を持つ人の理解と支援

毎年五月に、第一看護科、第二看護科の一年生を対象に、「障害をもつ人の理解と支援」の授業で重症心身障害者の家族であり、全国重症心身障害児(者)を守る会岡山県支部長様より「障がいをもつ人の親の思い」というテーマの講演をいただきました。また、国立療養所長島愛生園に六十余年生活をされている方より、「ハセン病と共に生きる」というテーマで講演をいただいています。学生は「お話を聞き、私は健康に生まれ自分の夢に向かってやりたいことをやれていることが本当に幸せな事なのだと改めて実感することが出来ました。」や、「感謝の気持ちや人が人を支えていくことの大切さを学ばせていただきました。」などの感想を寄せています。



看護の日

二〇一二年五月十二日の看護の日は、第一看護科二年生が「医療の専門と看護者の感性」というテーマでノン

フイクション作家の柳田邦男先生の講演を聴講しました。講師は、東日本大震災における訪問看護師の活躍などをもとに話され、看護師を目指すものとして様々な出来事とおしえて、感じることができること、必要心を養う必要性を学びました。



手術室看護体験

二〇一二年六月に手術室で働く卒業生を含めたエキスパートナース九名より、手術室看護について体験学習の機会をいただきました。スライドや動画を用いて、実際の様子をとてもわかりやすく伝えていただきました。学生は、命の現場であることを痛感し、手術室看護の魅力を感じていました。体験学習では、実際の手術器具をさわったり、手術着を着ることができとても興味深く、有意義な時間となりました。



技術評価試験

教育と実践現場の乖離を少なくするため教育に工夫をこらしています。各学年、年間三回程度の技術評価試験をおこなっています。技術評価試験では、具体的に対象者の状態に沿った援助ができるような事例設定をし、総合判断能力の向上を目指しています。



★人事異動★

☆退任された先生

学院長から顧問へ
藤田 哲輔(日二三・三)

☆退職された先生

庶務課
王賀 好久(日二三・三)
教務学生課
森 勝二(日二三・三)
池田 泰代(日二三・三)
図書館
田口 恭子(日二三・七)
近藤 陽子(日二四・四)
児童福祉科
林 基子(日二四・三)
介護福祉科
堀本 博子(日二三・三)
小池 陽子(日二三・三)
看護科
塩見 和子(日二三・三)
荻田 弘倫(日二三・三)
岸本 舞美(日二三・三)
佐古 和子(日二三・三)
吉見 美保(日二四・三)
山本 晃代(日二四・三)

☆荘内異動された先生

学院長代理
松本 好生↓わかば青年寮 寮長
児童福祉科
中西 仁志↓ひらた旭川荘 (わかば寮)

☆学内異動された先生

溝口 佳代↓児童福祉科
泉 宗孝↓児童福祉科



☆新任の先生

学院長
岡田 浩明
学院長代理
西山 猛
庶務課
片山 正一
教務学生課
大林 秀行
入試広報課
梶原 徳彦
図書館
桐石 久美(旭川キャンパス)
立岡 佳奈(吉井川キャンパス)
児童福祉科
藤原 香織
小合 明美
介護福祉科
木下 晴美
藤米田 仙華
看護科
石井 薫
井上 道代
河本都希子
西山美知子
大月 道子
中山 美加
柴田 貴子

◆訃報◆



特別顧問として長く同窓会の発展に携わってくださった長安一郎先生が、平成二十二年十二月十九日にご逝去されました。先生が築きあげてくださった同窓会を継いでまいります。先生のお姿を偲び心よりご冥福をお祈りいたします。



吉井川キャンパスより

副学院長
石橋 真二
科長
土屋 基己

A group photo of eight people, including seven women and one man, standing and sitting in a row. The man is seated in the center of the front row, wearing a white polo shirt. The women are standing behind him, wearing various colored tops (blue, pink, teal, dark blue, light blue, black, and purple). Two women are seated on the far left and right of the front row.



卒業生の皆さん、いかにお過ごしでしようか。昨年度、十期生は二十三人が卒業して全員が専門領域に就職しました。因みに国家試験は九一・三％合格でした。今年度から、専門科目もカリキュラムが改正され九十時間増えた関係で、実習期間が六週間になりました。また一月にも授業が入っています。十一期生は、なんと男子学生が女子学生の二倍というP科始まって以来のことです。休み時間は宛ら男子校のようです。そのパワームもあって、五月の体育大会では、種目別で「長縄とび」をはじめ三つの競技に優勝しました。今年も、先輩となった皆さん方から実習指導、就職にお力添えいただけますようにお願いできることを心強く思っています。

秋の合同交流会で、お会いできることを楽しみにしています。



科長
細谷 要一

精神保健福祉科

福祉研究科

閉科になりました

卒業生の皆様、元気でご活躍のこと
と思ひます。昨年度は学院創立四十周
年の記念すべき年でした。そして福祉
研究科では最後の学生となる十七期
生を送り出し、開科した年でもありま
した。この同窓会だよりで初めて知った方
も多いのではないかと思います。三百
名近い福祉研究科卒業生の皆様、本
学院で学んで頂きました。本当にあり
がとうございました。

開科にあたっては、各方面から残念
だとのありがたいお声もいただきました。
福祉研究科への高い評価は、現場に
におられる皆様のご活躍の賜物と思つ
ております。

今後とも各地でご活躍頂き、時には学
院へ足を運んで元氣な姿を拝見させて
ください。お互い元気で頑張りましよ
う！

卒業生より

十七期生
小林 紗也佳

福祉研究科を卒業してから私は介護の道を選択し、老健に就職しました。保育と介護との両方の視点から利用者様との架け橋となれている気がしました。介護に関わる上で「乗り越えなければならぬ壁」を私も経験しました。くじけそうになったとき支えになったのは旭川荘の先輩の存在でした。福祉研究科は開科となつてしまいました。これからが卒業生として誇れるようなことを願っています。皆さんの健康を願っています。

十五期生 小玉智子

特別養護老人ホームに就職して三年目となりました。段々と責任の重さを感じ、中、頼れる先輩方、刺激し合える同僚、そして利用者様の笑顔に支えられながら、この仕事にやりがいや喜びを実感しています。

学生時代に教えていただいた『心に寄り添う介護』を常に意識しながら、これからも毎日笑顔で元気にケアに努めていきたいと思います。



卒業式
(福祉研究科17期)



学 院 祭
(精神保健福祉科10期)



宿泊オリエンテーション
(介護福祉科 24期)

お知らせ

福祉科・介護福祉科・福祉研究科を卒業された方から「社会福祉主事任用資格」取得についての問い合わせがありました。本校では取得できませんが、申し訳ありませんが、「社会福祉主事任用資格」が必要な場合は、通信教育などをご利用ください。

介護福祉士「実務者研修」開講

平成二十八年月の介護福祉士国家試験から、実務経験三年以上にえ「実務者研修」の修了が必要になります。そこで介護福祉科では、平成二十四年十月から「実務者研修」を通信課程（一年間）で始めます。今後、介護福祉士国家資格を考えたい方はHPもしくは吉井川キャンパスまでご連絡ください。

講演会「介護のちから」

森 繁樹 先生
石橋 真二 先生

日 時：平成25年2月8日(金)
13:30~16:30

場 所：メルパルクOKAYAMA
参加費：無料

卒業生親睦会

(介護福祉科・福祉研究科卒業生対象)

日 時：平成25年2月8日(金)

場 所：メルパルクOKAYAMA

※講演会「介護のちから」終了後

詳しくは卒業生の皆さんに郵送でお知らせします。

